

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年前期	2	2	選択
担当教員			
石川 春乃			
添付ファイル			
講義概要			
脱炭素時代の建築は、単体機能のみではなく、周辺環境・地域・社会との関係性を強く問われる。その課題解決のために、いずれの分野においても建築技術者には建築環境・エネルギーの視点を求められる。本講座では、自然環境を含めた広義の環境問題、具体的には森林・木材、社会インフラである河川港湾、また、都市まちづくりなどについて、ワークショップ形式の共同作業を通じ、主体的・具体的な建築環境計画に生かす発想力を身に付けることを目的とする。 よって、本講義ではアクティブラーニング（AL）を重視し、環境問題や社会事象に対する課題の抽出力、主体的な課題解決意識を養う。この科目は、建築環境設計分野の実務経験のある教員が担当する科目である。			
授業計画			
1	ガイダンス、テーマ①：森林と建築環境（講義）（AL-1, 2, 5） 広範囲にわたる建築環境工学の学問上の位置づけと建築学科カリキュラムに対する位置づけの説明を行う。 各実践研究の目的、方針、テーマごとに行うチーム作業の説明する。 静岡県産材の生産から流通まで、森林業界と建築との連携を学び、建築環境からみる現状課題理解について、講義をAL①とAL②にて行う。建築学科棟での木材利用が所確認のワークショップ形式作業AL⑤で行う。 準備学習：シラバスをよく読んでおく。[1h] 課題1：ワークショップに関するレポート作成。[2h]		
2	テーマ①：森林と建築環境（従事者へのヒアリング）（AL-1, 2, 4, 5） 静岡県産材生産者、流通者等の従事者を招き、ヒアリングを行う。（AL①②④⑤） 準備学習：前回授業配布資料を再読し、ヒアリングに備える。[1h] 課題：ヒアリングの感想、内容理解のレポート作成。[2h]		
3	テーマ①：森林と建築環境（中間発表、ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チームの問題提起、提案方針を中間発表。他チームの中間発表を聞き、相互意見交換を行う。（AL①②④⑤⑥） 準備学習：中間発表のチーム毎準備。[1h] 課題：チームの中間発表内容を整理、チーム内の共有打合せ。[2h]		
4	テーマ①：森林と建築環境（ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チーム別プレゼンテーションにむけてのワークショップ作業。 準備学習：チーム内の共有（AL①②④⑤⑥）[1h] 課題：発表資料作成、練習[2h]		
5	テーマ①：森林と建築環境（チーム毎プレゼンテーション）（AL-2, 5, 6） ヒアリングを行った従事者を招き、チーム毎に課題解決提案をプレゼンする。従事者からの講評。 準備学習：自班発表練習（AL②⑤⑥）[1h] 課題：自班発表の反省レポート[2h]		
6	テーマ②：社会インフラと建築環境（講義）（AL-1, 2） 極端化する気象に備え、静岡県の社会インフラの環境対策を学び、まちづくりや防災計画の現状課題を理解し、講義をAL①②⑤にて行う。 準備学習：事前配布資料を読み、講義に備える。[1h] 課題1：講義に関するレポート作成。[2h] 課題2：従事者ヒアリングを前に質問項目を挙げる。		
7	テーマ②：社会インフラと建築環境（従事者へのヒアリング）（AL-1, 2, 4, 5） 静岡県の港湾・河川等インフラ維持管理者を招き、ヒアリングを行う。（AL①②④⑤） 準備学習：前回授業配布資料を再読し、ヒアリングに備える。[1h] 課題：ヒアリングの感想、内容理解のレポート作成。[2h]		
8	テーマ②：社会インフラと建築環境（中間発表、ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チームの問題提起、提案方針を中間発表。他チームの中間発表を聞き、相互意見交換を行う。（AL①②④⑤⑥） 準備学習：中間発表のチーム毎準備。[1h] 課題：チームの中間発表内容を整理、チーム内の共有打合せ。[2h]		
9	テーマ②：社会インフラと建築環境（ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チーム別プレゼンテーションにむけてのワークショップ作業。 準備学習：チーム内の共有（AL①②④⑤⑥）[1h] 課題：発表資料作成、練習[2h]		
10	テーマ②：社会インフラと建築環境（チーム毎プレゼンテーション）（AL-2, 5, 6） ヒアリングを行った従事者を招き、チーム毎に課題解決提案をプレゼンする。従事者からの講評。 準備学習：自班発表練習（AL②⑤⑥）[1h] 課題：自班発表の反省レポート[2h]		
11	テーマ③：都市と建築環境（講義）（AL-1, 2） まちづくり3法等の景観・都市環境について、建築計画に付随する景観・騒音や交通、廃棄物などの現状課題を理解し、講義をAL①②⑤にて行う。 準備学習：事前配布資料を読み、講義に備える[1h] 課題1：講義に関するレポート作成。[2h] 課題2：従事者ヒアリングを前に質問項目を挙げる。		

	12	テーマ③：都市と建築環境（従事者へのヒアリング）（AL-1, 2, 4, 5） 静岡県下の事業者や事業所周辺居住者、景観問題等の当事者を招き、ヒアリングを行う。 （AL①②④⑤） 準備学習：前回授業配布資料を再読し、ヒアリングに備える[1h]。 課題：ヒアリングの感想、内容理解のレポート作成。[2h]
	13	テーマ③：都市と建築環境（中間発表、ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チームの問題提起、提案方針を中間発表。他チームの中間発表を聞き、相互意見交換を行う。 （AL①②④⑤⑥） 準備学習：中間発表のチーム毎準備。[1h] 課題：チームの中間発表内容を整理、チーム内の共有打合せ。[2h]
	14	テーマ③：都市と建築環境（ワークショップ）（AL-1, 2, 4, 5, 6） チーム別プレゼンテーションにむけてのワークショップ作業。 準備学習：チーム内の共有（AL①②④⑤⑥）[1h] 課題：発表資料作成、練習[2h]
	15	テーマ③：都市と建築環境（チーム毎プレゼンテーション）（AL-2, 5, 6） ヒアリングを行った従事者を招き、チーム毎に課題解決提案をプレゼンする。従事者からの 講評。 準備学習：自班発表練習（AL②⑤⑥）[1h] 課題：自班発表の反省レポート[2h]
授業形態	講義及びワークショップ形式演習。3つのテーマについて、5回の授業によって構成する。 1回目：講義、2回目：従事者へのヒアリング、3回目：中間発表・ワークショップ、 4回目：ワークショップ、5回目：チーム毎プレゼンテーション 3テーマごとに数人からなるチームを編成し、発表までを共有作業とする。 アクティブラーニング：①：12回、②：15回、③：0回、④：9回、⑤：12回、⑥：9回	
達成目標	(1) 社会における建築環境分野の従事者の役割、具体的な課題を理解できる。（基礎） (2) ワorkshop形式の共同作業を通じて、協力者との連携、共有を図ることができる。（標準） (3) 社会における建築環境計画について、主体的な提案を行える。（応用） (4) 社会における建築環境計画について、主体的・具体的な発想力を身に付ける。（応用）	
評価方法・フィードバック	ワークショップ作業の積極性30%、チームのプレゼン提案発表40%、各テーマごとの提案レポート30%の総合成績で評価する。 いずれのプレゼン発表でも、相互評価をフィードバックする。	
評価基準	総合点が100点満点で60点以上の者に単位を与える。 秀(1-4)：100～90、優(1-3)：89～80、良(1-2)：79～70、可(1)：69～60、不可：59以下 ただし、カッコ（ ）内は達成目標の項目を示す。	
教科書・参考書	教科書、参考書：特になし。必要に応じてプリント事前配布。	
履修条件	特になし。	
履修上の注意	各テーマごとに決められたグループ単位で準備を共有すること。都度、グループリーダーのもとで役割分担を明確にすること。	
準備学習と課題の内容	・授業計画中に記載されている「準備学習」の内容（1時間）と「課題」の内容（2時間）を必ず行うこと。 ・「課題」他提出物は、原則i-learnに設定された仕様にて、〆切までに提出すること。	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:20%、思考・判断:20%、関心・意欲:30%、態度:10%、技能・表現:20%	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		